

課題情報シート

課題名：	左官の伝統工法としての土蔵壁の再現		
施設名：	職業能力開発総合大学校東京校		
課程名：	専門課程	訓練科名：	インテリア科
課題の区分：	総合制作実習	課題の形態：	製作

課題の制作・開発目的

(1) 課題実習の前提となる科目または知識、技能・技術

安全衛生、建築材料、仕上げ実習

(2) 課題に取り組む推奨段階

仕上げ実習終了後

(3) 課題によって養成する知識、技能・技術

課題を通じて、伝統的な左官作業の技術を身に付けます。

(4) 課題実習の時間と人数

人数：1名

時間：192時間

江戸末期から明治にかけて、都市における商家の建築として盛んに用いられた土蔵造りの建物は、今日ではその姿をほとんど消してしまいました。その理由は、土蔵造りには多額の費用と非常に長い工期が必要であるためです。

今回の総合制作実習では、この土蔵造りを取り上げ、その下地作りから漆喰磨き仕上げまでの工程を経験することで、土蔵壁の構造やその施工上の留意点を理解するとともに、左官における伝統的な工法としての土蔵造の良さを体得することを目的としました。

課題の成果概要

必要な材料の数量を拾い出すことからスタートをして、試作、竹木舞下地の構成やその作り方、荒土の作り方やその養生方法など、荒打ち作業までに調べるべきことが非常に多くありました。できる限り文献等で調査をしましたが、個々の作業の実務については大変不安な状態にあり、課題制作がスタートしました。そんな中で、インテリア科2年の仕上げ実習において非常勤として来られている諸岡先生から適切なアドバイスをいただいたこと、さらに荒打ち作業、中塗り作業、漆喰塗り作業の際には、作業現場に来て頂いて、実際の作業について指導を受けることができたことが、完成までたどり着けた最大の理由です。

この土蔵壁を作った学生は、左官に興味を持ってインターンシップ先として左官業を選び、そこで自分のしたい仕事を見つけました。その後、彼女は今ではほとんど施工されることの

ない竹木舞下地に興味を持って、この総合制作実習において土蔵壁を作ることを目指しました。下地を作る作業から土を捏ね、その土を打ちつける作業など体力を要する作業から、漆喰の塗りつけやその磨き作業のような繊細さが求められる作業までの一連の作業に積極的に取り組んだことによって得られたものは、指導教員である私が考えるより、もっと大きなものであったものと考えます。

出来上がった土蔵壁は、左官作業の基礎となる実技を習得する実習がインテリア科2年生で設定されていますが、教材としてしばらく保存するつもりです。

以下に作業工程と土蔵の断面および主な工程を示す写真を示します。

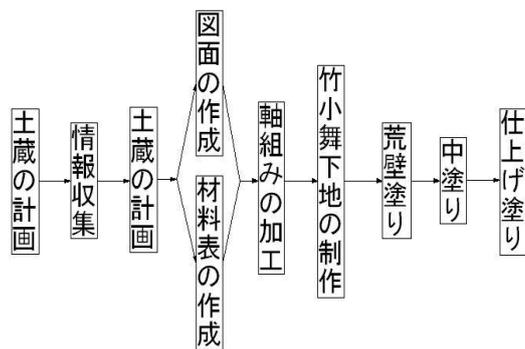


図1 作業工程

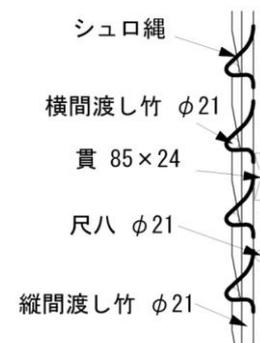


図2 土壁の断面



図3 木舞竹下地



図4 荒壁塗り



図5 荒打ち作業終了



図6 中塗り前の状態



図7 中塗り終了



図8 漆喰磨き作業終了

課題制作・開発の訓練ポイントおよび所見

以下に訓練ポイントおよび所見を示します。

養成する能力 (知識、技能・技術)	課題制作・開発のポイント	訓練（指導）ポイント
○竹木舞下地を製作する技術の習得	◇・竹の数量拾い ・竹木舞下地の試作 ・竹木舞かき作業	●竹木舞下地の施工法
○土壁に用いる荒土を作る技術の習得	◇荒土作り	●荒壁土の作り方
○土壁を構築する技術の習得	◇荒打ち作業(荒土のだんごを木舞竹に打ちつける作業、塗り厚:70mm) ・裏押し作業(塗りつけた荒土の裏側を平にならす作業) ・たる巻、縦縄入れ(乾燥して亀裂が入った土壁の剥離止め) ・むら直し作業(塗り厚:20mm) ・横縄入れ ・中塗り作業(塗り厚:20mm)	●荒打ち作業法 ●むら直し、中塗りの作業法 ●散りすきや乾燥割れを防止するための方法
○漆喰塗りの技術の習得	◇漆喰の塗りつけ ・漆喰磨き仕上げ作業	●漆喰塗りと磨き作業法
○評価方法とそれに基づいたまとめ	◇完成した土蔵の評価	●評価の仕方

荒打ち作業終了後の乾燥時間の確保が一番問題となります。通常この土壁の厚みであると荒打ち作業終了後むら直しまでに最低でも1か月程度養生しますが、この実習期間中にその時間は確保できなかったため、枠内部にストーブを置き内側から強制的に乾燥させた結果、1週間の養生期間でむら直し作業を行うことができました。この作業場が屋内であったこと、製作物が平面上900mm角の小さな箱ものであったために、養生時間を短縮することが可能になりました。また、むら直し作業終了後中塗り作業までの養生期間も同様な方法で短縮しました。当たり前のことですが、左官作業の場合、養生することも一つの大事な工程であるので、この時間をどのように確保するのか、製作前に十分に検討する必要があります。

課題に関する問い合わせ先

施設名 : 職業能力開発総合大学校東京校
住所 : 〒187-0035
東京都小平市小川西町 2.-32-1
電話番号 : 042-341-3331(代表)
施設 Web アドレス : <http://www.ehdo.go.jp/tokyo/ptut>